安全データシート

1. 化学品及び会社情報

1.1. 製　品　名　:　石原フロンサイド水和剤（フルアジナム水和剤）
1.2. 用　　途　:　殺菌剤
1.3. 会 社 情 報　:　会 社 名　石原産業株式会社
住　　所　大阪市西区江戸堀1丁目3番15号
担当部門　三重県四日市市石原町1番地
石原産業株式会社環境・安全衛生統括部
電話:059-345-6205　　FAX:059-345-6206
1.4. 緊急連絡先　:　石原産業株式会社 バイオサイエンス営業本部 生産技術部 技術開発グループ
電話:059-345-6118　　FAX:059-345-6180
1.5. 作　成　日　:　1995年9月5日
改　訂　日　:　2014年5月15日⑦

本製品（農薬）の使用に関するお問合せ先 : 石原テレホン相談室　0120-1480-57（フリーダイヤル）

2. 危険有害性の要約

2.1. GHS分類

物理化学的危険性:

爆発物	分類できない
可燃性・引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性:

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入:ガス）	分類対象外
急性毒性（吸入:蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入:粉じん）	分類できない
急性毒性（吸入:ミスト）	分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分1A
生殖毒性	分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2(腎臓, 呼吸器系, 肝臓, 消化管)
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性:

水生環境有害性(急性)	区分 1
水生環境有害性(長期間)	区分 1
オゾン層有害性	分類できない

2.2. ラベル要素

絵表示又はシンボル:

注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

H315	皮膚刺激
H318	重篤な眼の損傷
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H350	発がんのおそれ
H371	呼吸器系の障害のおそれ
H373	長期にわたる、または反復ばく露による腎臓、呼吸器系、肝臓または消化管の障害のおそれ
H400	水生生物に非常に強い毒性
H410	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

【安全対策】

安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。

P264	取扱い後、よく手を洗うこと。
P280	保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用すること。
P260	粉じん／蒸気を吸入しないこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P270	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
P273	環境への放出を避けること。

【応急措置】

応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。

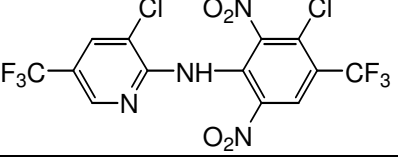
P302 + P352	皮膚についた場合:多量の水と石鹸で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P308 + P311	ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断／手当てを受けること。
P391	漏出物を回収すること。

【保管】

保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

P405　　施錠して保管すること。

【廃棄】

廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。

P501　　内容物／容器は、国／都道府県／市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

2.3.　その他の危険有害性:　特になし

3. 組成及び成分情報

3.1.　化学物質・混合物の区分:　混合物

3.2.　成　分

一　般　名	フルアジナム	その他	
化　学　名	3-クロロ-N-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジル)-α,α,α-トリフルオロ-2,6-ジニトロ-p-トルイジン	シリカ	鉱物性粉末 界面活性剤等
構　造　式	(Cl, O_2N, Cl, F_3C, NH, N, CF_3, O_2N)	SiO_2	—
含　有　率	50.0%	4.0% (うち結晶質シリカ 1.0%以下)	46.0%
官報公示整理番号 化　審　法	農薬取締法に規制される物質	(1)-548	全成分登録保証
官報公示整理番号 安　衛　法	8-(1)-1816	公表	全成分登録保証
CAS No.	79622-59-6	112926-00-8 7631-86-9	ノウハウのため 非公開

4. 応急措置

4.1.　応急措置の記載

目に入った場合　:　水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　:　多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

吸入した場合　:　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　:　水でよく口の中を洗浄すること。気分が悪い時は医師に連絡すること。

ばく露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡すること。

4.2.　最も重要な兆候及び症状　:　データなし

4.3.　医師に対する特別な注意事項　:　データなし

5. 火災時の措置

5.1.　消火剤　:　水, 粉末, 炭酸ガス, 泡消火剤

5.2.　特有の危険有害性　:　燃焼時、有毒ガス(HCl, HF, NOx 等)が発生する。

5.3. 消火方法 : 小さな火災の場合は、水・粉末・炭酸ガス・泡消火器で消火を行い、消火活動は風上より行う。
大規模火災の場合は、水、泡消火剤等を用いて空気を遮断する。

5.4. 消火を行う者の保護 : 消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行ない有害ガスの吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 適切な保護具を着用する。
多量の場合は人を退避させ、周囲にロープを張り、関係者以外を立入禁止にする。

6.2. 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避ける。公共の水路・水源等に流出したときは、警察・水質関係官庁に知らせる。

6.3. 回収、中和、封じ込め及び浄化の方法 :スコップ、箒、掃除機等を用いて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1. 取扱いの注意 : 使用取扱い後、よく手を洗うこと。
保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用すること。
粉じん／蒸気を吸入しないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
皮膚、粘膜又は、着衣に触れたり眼に入らないようにすること。
取扱場所に、関係者以外の立入を禁止すること。

7.2. 保管上の注意 : 施錠して保管すること。
吸湿しないように、密封容器に入れ、火気を避け、直射日光の当らない涼しい場所で保管すること。

8. ばく露及び保護措置

8.1. 管理濃度 : 吸入粉塵 3.0/(1.19Q＋1) mg/m^3 （Q＝粉塵中遊離珪酸(%)）

8.2. 許容濃度 : 日本産業衛生学会
第 2 種粉塵 吸入性粉塵 1mg/m^3, 総粉塵 4mg/m^3（2010 年版）

8.3. 暴露防止・軽減措置
設備対策 : 局所排気装置
保護具 : 呼吸用保護具 有機ガス用マスク・送気マスク・空気呼吸器・防塵マスク
保 護 眼 鏡 ゴーグル
保 護 手 袋 ゴム手袋・ビニール手袋
保 護 衣 ビニール合羽

9. 物理的及び化学的性質

9.1. 外 観 等 : 淡黄色水和性粉末
9.2. 臭 い : 僅かに特異な臭い
9.3. pH（20%水溶液） : データなし
9.4. 融 点 : データなし（フルアジナム：117℃）
9.5. 沸 点 : データなし
9.6. 引 火 点 : データなし
9.7. 可 燃 性 : データなし

9.8. 自然発火性・水反応性 : なし
9.9. 自己反応性・爆発性 : なし
9.10. 蒸 気 圧 : データなし
9.11. 蒸 気 密 度 : データなし
9.12. 比 重 : 0.25～0.35 g/cm^3(20℃)
9.13. 溶 解 度 : データなし
9.14. n-オクタノール・水分配係数 : データなし(フルアジナム＝4.03／25℃)
9.15. 分 解 温 度 : データなし
9.16. 粘 度 : データなし

10. 安定性及び反応性

10.1. 反 応 性 : データなし(自己反応性なし)
＊ フルアジナムはニトロ基を有するが、危険物第 5 類判定試験で第 5 類に該当せず。
10.2. 安 定 性 : 通常の条件下で安定(フルアジナムは水中での易分解性なし)
10.3. 避けるべき条件 : データなし
10.4 混触危険物質 : データなし
10.5. 危険有害な分解性生物 : 燃焼により、HCl, HF, NOx が生成する。

11. 有害性情報

11.1. 急 性 毒 性 : 経口 LD_{50} 3607mg/kg (ラット♂), 2472mg/kg (ラット♀)
経皮 LD_{50} >2000mg/kg (ラット♂, ♀)
吸入 データなし
11.2. 皮 膚 刺 激 性 : 中程度の刺激性あり(ウサギ)
11.3. 眼 刺 激 性 : 強度の刺激性あり(ウサギ)
11.4. 感 作 性 : 皮膚感作性:あり(モルモット, Buehler 法 陽性率 30%),
呼吸器感作性:データなし
11.5. 変 異 原 性 : データなし(フルアジナムは陰性)
11.6. 発 が ん 性 : 結晶質シリカ(区分 1A)を 1.0%以下含有することから、区分 1A とした。
(フルアジナムは発がん性なし)
11.7. 生 殖 毒 性 : データなし(フルアジナム原体は生殖毒性なし)
11.8. 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 結晶質シリカ(区分 1:呼吸器)を 1.0%以下含有することから、区分 2(呼吸器)とした。
11.9. 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 結晶質シリカ(区分 1:腎臓, 呼吸器)を 1.0%以下含有すること、フルアジナム(区分 2:肝臓, 消化管)を 50.0%含有することから、区分 2(腎臓, 呼吸器, 肝臓, 消化管)とした。
11.10. 吸引性呼吸器有害性 : データなし

12. 環境影響情報

12.1. 生 態 毒 性 : 水生環境有害性(急性)

コイ	LC_{50}	0.35mg/L(96 時間)
オオミジンコ	EC_{50}	0.0884mg/L(48 時間)
藻類	ErC_{50}	>178mg/L(72 時間)

水生環境有害性(長期間)

ファットヘッドミノー	NOEC	0.0053mg/L (フルアジナム)

＊本混合物の成分 44.6%については水生環境有害性が不明である。

12.2. 残留性・分解性 : データなし(フルアジナム:水中での易分解性なし)

12.3. 生 態 蓄 積 性 : データなし(フルアジナム:BCF 1018)
12.4. 土壌中の移動性 : データなし
12.5. オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意
内容物／容器は、国／都道府県／市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。
13.1 内 容 物 の 廃 棄 : 焼却時、有害ガス(HCl, HF, NOx等)が発生するので、アルカリ吸収設備の備わった場所で法・条例に従って安全に処理する。
13.2 容 器 の 廃 棄 : 内容物を使い切った後、適切に処理する。

14. 輸送上の注意
14.1. 国際規制
国連番号 : 3077
国連分類 : 9
包装等級 : Ⅲ
品 名 : Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s.(フルアジナム)
航空規制情報 : ICAO, IATA の規制に従う
海上規制情報 : IMDG Code の規制に従う
海洋汚染物質 : 該当
14.2. 国内規制
陸上規制情報 : 該当しない
航空規制情報 : 航空法の規制に従う
海上規制情報 : 船舶安全法の規制に従う
14.3. 特別の安全対策 : 定められた密閉の袋に入れ、運搬に際しては、箱の落下損傷がないよう積み込み荷崩れの防止と水漏れや乱暴な取扱を避ける。

15. 適用法令
農薬取締法 : 農薬登録番号 第 17556 号
毒物及び劇物取締法 : 該当しない
消防法 : 該当しない
労働安全衛生法 : 第 57 条(表示対象物質) 該当しない
第 57 条の 2(通知対象物質) シリカ(第 312 号)
化審法 : 該当しない
化管法 : 第 1 種指定化学物質 フルアジナム(第 95 号) 50.0% (代表分析値)
第 2 種指定化学物質 該当しない

16. その他の情報
石原の農薬(石原産業株式会社)

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ
石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)
※石原バイオサイエンス㈱の全国の支店のうち、農家の皆様の最寄りの事業地にかかるようになっています。

公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)
中毒110番 一般市民専用電話 (大 阪) 072-727-2499(情報料無料)
365 日 24 時間対応

	（つくば）	029-852-9999（情報料無料） 365 日 9～21 時対応
中毒110番　医療機関専用有料電話	（大　阪）	072-726-9923（1 件 2000 円） 365 日 24 時間対応
	（つくば）	029-851-9999（1 件 2000 円） 365 日 9～21 時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料1件につき 2000 円を徴収します。

この安全データシート（SDS）は、JIS　Z7253 に基づいて作成しています。

記載内容の取扱い

本 SDS の記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途･用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。